

(事後評価)

双方向キャリア形成プログラム農環研モデル

(実施期間：平成 21～23 年度)

実施機関：独立行政法人 農業環境技術研究所（総括責任者：宮下 清貴）

プロジェクトの概要

女性研究者が、世界で存在感のある優れた研究者として、ワークライフバランスを保ちつつ総合的な研究能力を身につけて躍進するために、＜双方向キャリア形成プログラム農環研モデル＞を実施する。本プログラムは、次世代や若手を育成すると共にそれに関わる研究者の指導力や総合的な研究力を向上させ、双方向に女性研究者のキャリア形成を促進することにより、女子学生の裾野拡大から若手・中堅の女性研究者の両立支援とキャリア向上までの支援策を、総合的かつ効率的に推進する。

I. キャリア形成・研究力向上のための支援 国際経験蓄積プログラム、ポスドクキャリア向上プログラムにより、女性ポスドクの研究実践力の向上と、女性研究者の指導力やメンターとしての資質の向上等の総合的な研究力の養成を図る。

II. 出産・育児・介護との両立支援 育児・介護等に関わる女性研究者を支援する女性ポスドク等を、支援研究員として採用する。また、育児・介護等に関する Web 上の情報窓口および相談窓口を開設すると共に、実態を踏まえて専門家によるセミナーの開催や制度の見直しの提言を行う。

III. 次世代育成支援 インターンシップやアウトリーチ活動等を通じて、女子学生の裾野拡大を図ると共に、女性研究者のサイエンスコミュニケーション能力を向上させる。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組の内容	システム改革の成果	実施体制	実施機関終了後における取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

小規模組織の利点を活かし、トップダウンとボトムアップをよく機能させ、女性研究者の両立支援、キャリアアップ、次世代育成、女性ポスドクの積極的採用等、充実した内容の支援及び育成が実施されており評価できる。小規模研究機関における女性研究者支援・

育成のモデルとなるよう期待する。

・ **目標達成度**：研究支援員の配置等により女性研究者の両立支援を積極的に進め、また、女性研究者の在籍比率及び国際会議での研究発表回数も僅かに目標値に届かなかったものの、女性研究者の採用を進めており評価できる。

・ **取組の内容**：アンケート調査を随時行い、取組の妥当性をチェックし、フィードバックさせながら取組を進めた点、また、自主経費を効率的に用いて女性研究者支援を実施した点が評価できる。

・ **システム改革の成果**：支援研究員制度、ポスドクキャリア向上プログラムといった双方向のキャリア形成を目指した特色ある取組の実施によりシステム改革を進め、女性研究プロジェクトリーダーや女性管理職員の誕生、上位職へのキャリア向上等の成果を上げており評価できる。

・ **実施体制**：男女共同参画推進委員会の委員長である理事長のリーダーシップの下、小規模機関の利点を活かした全所的な実施体制となっていた点が評価できる。

・ **実施期間終了後における取組の継続性・発展性**：男女共同参画推進委員会が主体となり全所的な実施体制を維持するとともに女性研究者支援経費を措置し、殆どの取組を継続しており評価できる。今後も、機関の特色を生かした取組の継続を期待する。